# 2023年度・第9回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2023年12月17(日)13:30～16:10

場所：　いきいきホール2階　大会議室

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、山田　勲、黒田　勝行、三室　哲哉、渡辺　昇、
山田　修、田口　信義、中川　浩光、
欠席：　中世古　昭一、平尾　英城、山地　祐輔、蔵田　かほり、中尾　節子

配布資料：
① 令和5年度第9回（12月）未来会議（全体会＆分科会）議題
② 未来会議に対する田口会長の意見について V3
③ 令和5年12月度未来会議　2023年度事業計画と次年度予算編成について
④ 令和6年度　鹿ノ台未来まちづくり会議運営方針（案）V2
⑤ 鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）2023年決算見込み V4
⑥ 鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）2024年度予算書（案）V2
⑦ 令和6年度　未来会議　予算案作成日程（案）V2
⑧「鹿ノ台放課後子ども教室にじ」の活動状況
⑨ 鹿ノ台春まつり　配置図（案）
⑩ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　乗車実績（人数）R5.11月度
⑪ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績 分析【令和5年11月度】
⑫ 令和5年度環境教育学習（ECOKA 資料）
⑬ トライブリッド蓄電システムの配置イメージ（山田勲氏資料）

## 会長挨拶

・本日は、特に二つの点について議論していく。一つは、「未来会議のあり方について」、12月の連合役員会の議事録に掲載された田口連合会長のご意見に関して、未来会議の幹事会の見解を文章にまとめたので、これを基に議論を行いたい。もう一つは、R6年度未来会議活動計画・予算（案）について議論していきたい。

## 未来会議のあり方について

<u>12月の連合役員会における田口連合会長の未来会議に対するご意見：</u>

①会則に「中長期的課題解決のために設置する」とあるが、その姿が見えない。少なくとも活動の半分は、中長期的思考に立ち、未来の姿を想定し演繹的なアプローチが必要ではないか。未来会議でなくてもできる活動が多い。

②未来会議は、高齢化、少子化への対応等に取り組んでおり、これも未来への取組みであるが、現状改善型になっている。

③未来会議は、「特別委員会」に該当し、本来は高度なリスペクト対象であるが、17条委員会のアプローチと変わらない。

④よって、会則上の位置づけを13条から17条に移行したらどうか。規約の見直しも検討する必要がある。

⑤「春まつり」は継続実施は期待するが、未来会議内で実施するのにも違和感がある。

⑥未来会議の幹事会や12月例会で17条委員会への移行を含め検討する。

その結果をもって、1月度の連合役員会で検討を行う。

<u>これに対する未来会議幹事会の見解：</u>

①鹿ノ台の中長期的課題および未来の姿については、未来会議の中にも多様な価値観や捉え方があったが、一致できるところから「鹿ノ台未来まちづくり　中期計画（案）骨子」（2021年8月15日）」にまとめた。

・地域人口の大幅な減少予測を受け、地域の将来像（理念）を「みんなでつくる　住みたくなるまち　鹿ノ台」（魅力あるまちづくり）とし、5つの基本目標を設定し、実現性を視野に入れ、取り組んできた。その結果、いくつかの具体的な成果に結びつけることができた。

・一方、田口会長からは地域の未来の姿について何度か提案があったが、未来会議で合意されるには至っていない。

②連合会における未来会議の位置づけを「特別委員会」から17条委員会に変更すべきたという、田口さんの理由がよく分からない。発足当初から、未来会議は既存の17条委員会のように特定分野の活動に絞るのではなく、いろんな分野にまたがる活動することを趣旨にしており、今もその趣旨に基づいて活動している。

③田口会長は、特別委員会としての未来会議は諮問委員会と同等の位置づけととらえておられるようだが、連合役員会から、今までなにかについて諮問したいという明確な意思表示はなかった。

④未来会議は役員の任期を5年として発足しており、その総括をしていない、2年半あまりが経過した途中の段階で規約改正を必要とするほど重大な問題が生じているとは思えない。

⑤未来会議についての田口会長の考えは、田口さん個人のものか、連合役員会

で共有されているものなのか。（⇒田口さんの意見は12月度の役員会で述べられたが、他の役員からは特段のコメントはなかった、とのことである。）もし連合役員会で共有された意見であれば、もう一度未来会議と役員会とで話し合う必要がある。

⑥未来会議が「春まつり」を実施するに当り、未来会議全体会で次の通り確認して進めている。

・令和5年7月の未来会議全体会で、「春まつり」の企画書を提示・説明し、了承された。（違和感があるとの意見はなかった。）

・春まつりは、地域の資源である鹿ノ台中央公園の一層の活用を通じて、地域住民のみならず地域外の子育て世代にもその魅力を訴求し転入促進に繋げていくことを狙いとしている。

・企画するにあたり、連合会との共催も提案したが、未来会議単独でやってほしいということだったため、未来会議が主催することにした。春まつり実行委員会に連合会の役員にも加わってほしいと要望したが、連合会役員は他の業務で多忙のため、未来会議のメンバーでやってほしいということであった。

・春まつりの開催について、連合会役員会で承認をとる必要があるか確認したが、その必要はないとのことであった。

・17条委員会を立ち上げて実施すべきではないかとの意見もあるが、現実に担当できる委員会なり組織は存在しない。春まつりは2022年4月に実験的に実施した「森のコンサート」を踏まえて、未来会議の中で発案し企画したものである。春まつりを担当する委員会なり団体がでてくれば、その時に検討することは可能である。

<u>討論：</u>

・田口会長のご意見と、これを受けた未来会議幹事会の見解について説明後、討論が行われた。

・今後のあり方については、今回の討論の結果を受けて、1月の連合役員会においても再度、議論していただくこととなった。

R6年度事業と予算について

<u>事業計画について</u>

・（1）未来会議の R6年度の運営方針（案）は「1. 中長期的なまちづくりの視点から［鹿ノ台未来まちづくり中期計画（案）骨子］をもとに、課題解決に向けて具体的な対策と実行計画を策定し、自治連合会と連携して街づくりを推進する」、そして「2. 上記［未来まちづくり中期計画（案）骨子］のうち、今後の優先度の高いテーマについて、具体的課題の抽出・解決策の検討を進める」としたい。

・（2）重点施策としては、子育て分科会は①R5年度に進めて来た「中央公園魅力向上」プロジェクトで生まれた企画案の実現、②スポーツ公園へのバスケットゴー

ルの設置と利用促進、③「鹿ノ台放課後子ども教室にじ」の運営の支援、としたい

・春まつり実行委員会は、2024年3月の第1回開催を踏まえ、第2回目の開催につなげていく。その際には、実行組織のあり方についても検討を行いたい。

・（3）中期的地域づくりの課題への対応として、11月の未来会議と連合役員会との連絡会で議論された「自治会長・評議員の負担軽減」と「住民の自治会離れ」の問題について、連合会と共に解決に向けて取り組むことを提案したい。

・（4）連合会ホームページ委員会に参画している未来会議のメンバーを通じ、新規転入者を促進するため、鹿ノ台の魅力を対外的に発信する方向でホームページの充実を図る。

予算について

・2023年度決算に関しては、予算執行率は71．3％となる見通しである。これは、「困り事サポートの冊子」印刷費が連合から支出されたこと、「会議費」についてはコロナ禍の影響でふれあいホール利用料が半額になっていたこと、加えて「事務消耗品費」が少なくなったためである。春まつりの予算が増えている分については、予備費等から充当する。

・2024年度予算に関しては、10万円を要求する予定である（23年度は22年度繰越金が多かったため5万円を要求した）。印刷費には初年度以来発行してこなかった「みらい」（未来会議機関紙　A41枚）を発行する費用を含めた。連絡会をふれあいホールではなくいきいきホールで開催する予定とし、「会議費」を減額した。春まつり（25年春）に4.6万円、子どもイベントに1万円を計上した。

・予算作成日程としては、12月の幹事会で決算・予算について議論し、本日の提案にまとめた。今後は、各分科会リーダーが1月7日までに予算案を提出し、13日の幹事会で決定し、結果を未来会議メンバーにメール後、連合会に提出する。

意見：　子育て分科会メンバーから、春まつりで子育て分科会の活動を知らせるチラシを配布するアイデアが出ている。これを受けて、次年度を予定している「みらい」の発行を前倒しし、春まつりで配布することを提案したい。　⇒　承認

## 子育て分科会報告：「鹿ノ台放課後子ども教室にじ」の活動状況

・未来会議子育て分科会で取り組んだ「子どもの居場所づくり」の成果として、生駒市教育指導課より委託を受け、2022年度より鹿ノ台小学校で水曜日の放課後（年間30回）に実施している。

・毎年60名前後の応募があるが、場所とスタッフの制約があり、定員30名で実施している。スタッフは毎回5名が参加し、前半は宿題タイム、後半は自由時間＋コーナー遊びというスタイルで実施している。

・月1回は体育館、その他は図工室で開催しており、自由時間には用意してあるぬり絵や折り紙、あるいは将棋、オセロ、UNO、Twister　などのゲームを楽しん

でいる。年に数度、外部講師に来ていただき、体操教室やマジックショーなどを開催している。また、地域スタッフが持ち回りでゲームや工作遊びを提供している。

・自治会の広報活動に活用していただけるよう、写真を数枚用意した。小学校にも確認を取っているので、ホームページやウェルカムミーティングでご活用いただきたい。先日、抜粋した文章と写真を結ネットに掲載していただいた。

意見： この活動報告を小学校の掲示板で広報して欲しい。

意見： 連合ホームページにも掲載していく。

## 鹿ノ台春まつりについて

・春まつりの「配置図」を作成した。これを最終案とする予定である。

ステージではコンサートを実施し、広場の南側にキッチンカーを5台配置する。お花見席の前にバンビカフェとストリートオルガンがくる。バンビカフェは「カフェ」と「物販」を行う。

・広場の北側は、西からフリマとマルシェが並び、その横で子どもイベントが行われる。子どもイベントは、「ストラックアウト」（子育て分科会主催）と「フォトブース」（鹿ノ台 Women’s Base主催）の2つである。

・開催時間は11時～15時だが、12時～13時はステージの音楽は休止し、広場中央で太極拳の模擬演技が行われる。

・当日は、出演者、出店者、参加者、主催者のすべてにアンケートを行い、今後の参考とする。

・説明会については、分科会で相談して実施していく。

## 「脱炭素化まちづくり」の具体的実践例の紹介（山田勲氏）

・一個人として、自家消費するエネルギーは100％自家生産するということを目指し、設備投資を行った。電力自給自足のモデルハウスとして、太陽光発電パネルを6kw強設置し、余った電気は蓄電池に蓄え、電気自動車に利用する。脱炭素まちづくりへの取り組みの一つとして、地域への普及にも貢献したい。

## 環境教育学習の紹介（ECOKA 委員会）

・11月27日、鹿ノ台小学校にて森林環境教育を行った。その報告書を小学校と教育委員会にも提出した。鹿ノ台の良い宣伝になると思う。

## 「脱炭素化先行地域」プロジェクトについて

・生駒市から特別目的会社（SPC）の立ち上げの報告があったと思うが、実際には遅れており、2月になる予定である。このSPCは、ENEOS子会社のJRE社、岡山県のカジノン社、および生駒市民パワーの3社による共同出資会社になるということだ。

## 令和5年度下期Welcome Meetingの件

・恒例の新規転入者向けの Welcome Meeting が1月28日（日）14：00からいきいきホール談話室と交流サロンで実施される。連合会の主催だが、いきいきホール委員会や未来会議は準備等で協力をしていく。

## 鹿ノ台コミバス11月度乗車実績について（報告）

11月度の乗車実績：

・R5年11月の実証運行の日数は12日、乗車実績は累計576人、一日あたり平均48人、一便あたり6人だった。

・11月度は地域別に見ると、東地区が22％（前月比1％減）、西地区が26％（同7％減）と減っているが、北地区は36％（6％増）、南地区は16％（同3％増）となっている。

・1月から本格運行が始まる。運行曜日（月・水・金）およびダイヤに変更はない。運賃は3月まで190円、4月以降は他の生駒市のコミバスの料金と同様に200円になり、連合会の負担（差額の10円分）がなくなる方向で議論されている。

・路線バスは2月1日から30円値上げされ、鹿ノ台⇔登美ヶ丘で220円になる。

# 次回

日時：　2024年1月21日（日）13：30～16：30

第I部　　全体会　13：30～15：10

第II部　　分科会　15:15～16:30

幹事は13:15集合

場所:　いきいきホール大会議室

以上